

読書意欲を高めるブックトーク

～小学校中学年のアンケート調査を通して～（その2）

梅野 智美・安岡美智代・宮本 翼

1. はじめに

本に親しむ子どもを育てるための取組みは様々行われている。『九州大谷研究紀要』第40号（以下、九谷紀要第40号）で執筆したが、筆者たちは、小学校で行われている「朝の読書」（以下、朝読）注1）で10分間から15分間の短い時間であるが絵本の読み聞かせを行っている。また、読書意欲を少しでも高めるために絵本の読み聞かせと併せてブックトークも行っている。

文部科学省の「学校図書館の現状に関する調査」注2）において、平成26年度の調査では、「読書活動の状況」についての項目に「全校一斉読書以外の読書活動推進のための取組の状況」がある。その具体的取組みの中にブックトークがあり、小学校でブックトークを実施しているのは38.3%であった。平成28年度の調査では、「読書活動の状況」については、「全校一斉読書以外の読書活動推進のための取組の状況」はなく、「ボランティアの活用状況」の内訳に、「読み聞かせ、ブックトーク等、読書活動の支援」とまとめられ93.4%となっている。このことから、ブックトークは平成28年度より単独の質問でなくなっている。本稿は、九谷紀要第40号に執筆した原稿に基づいて、八女市立の小学校でブックトークを実施し、児童たちにアンケート調査を行ったものをまとめたものである。既に『九州大谷研究紀要』第43号（以下、九谷紀要第43号）に、6つのブックトークのうち3つのブックトークのアンケート調査の結果をまとめている。今回は残りのブックトークのアンケート調査の結果をまとめたものである。九谷紀要第43号に引き続き、このアンケート調査を分析しブックトークが小学生の

読書意欲を高めるものに有効であることを考察する。

2. 調査方法

(1) 調査対象

福岡県八女市立八幡小学校（以下、八幡小）、福岡県八女市立川崎小学校（以下、川崎小）、福岡県八女市立忠見小学校（以下、忠見小）の小学生3年生及び小学生4年生の児童118人を対象とした。各小学校を紹介する。

・八幡小学校

八幡小学校は、八女市の西端に位置し、新幹線の駅や高速道路のインターチェンジ等が近く利便性がよい。校区の南に矢部川が流れ、田畑に囲まれた自然豊かな地域でもある。地域と学校が協働して子どもの健全育成を目指すコミュニティ・スクールを推進し、読書ボランティア「八幡Dreambook」等が読み聞かせを行っている。学校生活の中でも読書活動を推進し、午後の学習の前に10分間読書に取り組んでいる。ひまわり図書館では、図書委員会による紙芝居や読み聞かせ・多読賞の表彰・図書館まつり・給食室と連携した掲示等、学校司書の中核として様々な活動を行っている。

・川崎小学校

川崎小学校は、八女市役所から7kmほど離れた場所に位置している。校区は清流矢部川と星野川の流域にあり、豊かな自然環境に恵まれている。ほしの子図書館は教室のある棟の2階にあるが、別棟との連絡通路や階段にも近く、児童にとって利用しやすい場所となっている。保護者を中心としたボランティアによる読み聞かせを行っているほか、外部団体を交えての行事「読書まつり」を実施している。

・ 忠見小学校

忠見小学校は、八女市の中心部から西部へ3.8kmに位置している。周りには数多くの古墳群や広大な県営パイロット農場があり、自然に恵まれた農村地帯である。故郷を愛し、自ら学ぶ心豊かで、たくましい子どもの育成を学校の教育目標としている。その中で、生きる力、学力の充実を図るため読書に力をいれており、学校行事の文化発表会では、図書委員による昔話劇や多読賞の表彰などを行っている。また、きくのご図書館ではお薦め本を掲示したり、読書ボランティアによる読み聞かせ等を継続して行っている。

（２）調査方法

八幡小学校、川崎小学校、忠見小学校の各校長の許可を得て、朝読の時間注３）にブックトークを行い、その後児童たちにアンケート調査を行った。

（３）調査内容

「この本の紹介を聞いてどう思いましたか」の質問項目は、「おもしろかった」、「おもしろくなかった」のどちらかで回答。「読みたいと思う本はありましたか」の質問項目は、「はい」か「いいえ」で回答。「はい」と答えた人は、「どの本ですか（複数回答可）」に丸で囲んで回答。そして、「感想を自由にお書きください」の自由記述の３項目で構成した。

(4) 調査期間

平成28年9月～平成29年11月

実施日

テーマ	学年	八幡小	川崎小	忠見小
おいしい味って どんな味？	3年	H29年10月23日	H29年10月25日	H29年10月6日
	4年	H28年11月21日	H28年11月16日	H28年12月2日
よりどりみどり！？ 鳥の本	3年	H29年7月10日	H29年9月13日	H29年9月22日
	4年	H29年1月16日	H28年10月26日	H28年10月28日
はるなつあきふゆ	3年	H29年9月4日	H29年11月8日	H29年9月8日
	4年	H28年12月9日	H28年9月7日	H28年9月2日

3. 調査結果

●テーマ「おいしい味ってどんな味？」

紹介した本は、『エバミナンダス 愛蔵版 おはなしのろうそく1「おいしいおかゆ」』（東京子ども図書館／編 東京子ども図書館）、『中村勝宏シェフのこども味覚教室1』（中村勝宏／著 ほるぷ出版）、『まほうをかけられた舌』（安房直子／作 瀧上昭廣／絵 岩崎書店）の3冊である。

1. 本の紹介について

3年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか？」という間に、おもしろかったと回答したのは川崎小は100%（15人）、忠見小は97.7%（42人）、八幡小は94.4%（17人）であり、おもしろくなかったと回答したのは八幡小は5.6%（1人）、忠見小は2.3%（1人）であった。合計では、おもしろかったと回答したのは97.4%（74人）、おもしろくなかったと回答したのは2.6%（2人）でほとんどの児童が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。（図1参照）

4年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか？」という間に、おもしろかったと回答したのは、川崎小、忠見小どちらも100%（川

崎小17人、忠見小20人)、八幡小は85.7% (12人) であり、おもしろくなかったと回答したのは八幡小の14.3% (2人)であった。合計では、おもしろかったと回答したのは96.1% (49人)、おもしろくなかったと回答したのは3.9% (2人) であった。4年生もほとんどの児童が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。(図2参照)

2. 読みたい本について

3年生に対して「読みたいと思う本はありましたか?」という問いに、はいと回答したのは川崎小は100% (15人)、忠見小は97.7% (42人)、八幡小は88.9% (16人) であり、いいえと回答したのは八幡小は11.1% (2人)、忠見小は2.3% (1人) であった。ほとんどの児童が読みたい本があったと認識しているという結果であった。(図3参照)

4年生に対して「読みたい本はありましたか?」という問いに、はいと回答したのは忠見小は100% (20人)、八幡小は92.9% (13人)、川崎小は76.5% (13人) であり、いいえと回答したのは川崎小は23.5% (4人)、八幡小は7.1% (1人) であった。4年生ではブックトークはおもしろかったが、読みたいと思うかどうかは個人差が見られる結果となった。(図4参照)

八幡小の3年生の「『はい』と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)」という問いに対して、『まほうをかけられた舌』は83.3% (15人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は55.6% (10人)、続いて『おいしいおかゆ』は50% (9人)。川崎小の3年生は『まほうをかけられた舌』は93.3% (14人)、続いて『おいしいおかゆ』は60% (9人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』53.3% (8人)。忠見小の3年生は『まほうをかけられた舌』は79.1% (34人)、続いて『おいしいおかゆ』は58.1% (25人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は51.2% (22人) であった。全体では、『まほうをかけられた舌』は82.9% (63人)、続いて『おいしいおかゆ』は56.6% (43人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は52.6% (40

人)であった。3校とも『まほうをかけられた舌』への高い関心が読み取れた。(図5参照)

八幡小の4年生の「「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)」という問に対して、『まほうをかけられた舌』は71.4% (10人)、続いて『おいしいおかゆ』と、『中村勝宏シェフのこども味覚教室』はいずれも42.9% (6人)であった。川崎小の4年生は『まほうをかけられた舌』は52.9% (9人)、続いて『おいしいおかゆ』は29.4% (5人)、同じく『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は29.4% (5人)。忠見小の4年生は『まほうをかけられた舌』は95% (19人)、続いて『おいしいおかゆ』は60% (12人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は40% (8人)であった。全体では、『まほうをかけられた舌』は74.5% (38人)、続いて『おいしいおかゆ』は45.1% (23人)、続いて『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は37.3% (19人)であった。こちらでも、3校とも『まほうをかけられた舌』への高い関心があるという結果であった。(図6参照)

3. 感想について (抜粋)

ブックトークアンケートの最後に「何か感想があれば自由に書いてください」の自由記述である。

〈3年生〉

◆八幡小

- ・「おいしいおかゆ」はことばを言うだけでおかゆがでるからすごかったです。
- ・「まほうをかけられた舌」のつづきがみたい。

◆川崎小

- ・「おいしいおかゆ」がとくにおかゆがふえるところがおもしろかったです。
- ・とてもおもしろかったし、いろいろ知りました。

◆忠見小

- ・おいしいおかゆってどんな味がするのか気になる。
- ・ちゃんと地下室に行ったかと、地下室に行って何をしたのか知りたい。
- ・「まほうをかけられた舌」と「中村勝宏シェフのこども味覚教室」を読んで家でつくってみたいなと思いました。

〈4年生〉

◆八幡小

- ・ひとつのテーマにいくつかの本を紹介して、すごいなと思いました。次はどんなテーマなのか楽しみです。
- ・わたしは、とくに1冊目の「おいしいおかゆ」が心に残りました。おなべが自分でおかゆを作ってくれるからふしぎだなと思ったし、読んでもらっていたとき本を見らずにゆっくり読んでもらったので聞きやすかったです。

◆川崎小

- ・「おいしいおかゆ」をかりたいと思いました。
- ・「中村勝宏シェフのこども味覚教室」の2かんと3かんが気になった。

◆忠見小

- ・あまり味の意味を考えたことがなかったから、今日のブックトークで味にきょうみを持って、読んでみようと思った。
- ・「おいしいおかゆ」と「まほうをかけられた舌」のつづきがとても読みたくなりました。それにいろいろな味が知れて、今度からは考えて食べて食べようと思いました。どの本も今度読んでみたいです。

『おいしいおかゆ』のストーリーは、貧乏に暮らしていた女の子が、森でおばあさんから不思議なおなべをもらうところから始まる。そのおなべ

は「ちいさなおなべや にておくれ」と言うとおかゆを煮てくれる便利なおなべだが、女の子が出かけている間にそのおなべを使ったおかあさんが、おなべを止める呪文が分からなくなり、町中におかゆがあふれ出してしまうというお話である。グリムの昔話でもあるこの作品は、“おかゆ”という身近なものが、壮大にあふれていく様子を面白おかしく描いてあり、さらにストーリーテリングで聞かせることによって、児童たちの想像がどんどん膨らんでいく。シンプルに「おいしいおかゆ」と表現されたところに、「どんな味がするのか気になる」という感想が多く見られ、それぞれの頭の中で思い思いのおかゆをイメージしながら楽しんだようである。

『中村勝宏シェフのこども味覚教室』は、洞爺湖サミットの総料理長も務めたシェフが、「食」の大切さを子どもたちに語りかけるユニークな食育入門書である。全3巻のうち、味覚や調味料、食事のマナーなどを解説する1巻を紹介した。4つの基本の味をクイズ形式で児童に問いかけ、その味の素となる栄養分について解説をした。自分たちが普段から食べているものの味をイメージしながら聞くことで、実体験の記憶とともに楽しく認識できている様子であった。アンケートでは「今度から考えて食べようと思いました」、「2巻と3巻が気になった」など、味に対する興味が深まったように感じられた。

『まほうをかけられた舌』のストーリーは、父のレストランを継ぐことになった息子の洋吉が、小人の魔法で不思議な能力を持つ舌を手に入れるお話である。レストランの主人となったが、レストランの味の秘密も知らない上、料理のコクやうまみは分からず、美味しい料理なんて作ることができない洋吉。それを見かねた小人は、「どんな料理でも一口食べれば味付けが分かってしまう」という魔法を洋吉の舌にかける。途中で挟んだ朗読では、魔法をかける様子や、魔法がかかった舌で食べたカレーに含まれる薬味を全て言い当てる様子を紹介した。このあと洋吉は、料理の勉強をするために小人のいる地下室へ行くことを約束するが、その後のストーリーは最後まで話さずにブックトークを終えた。3年生、4年生ともに『ま

ほうをかけられた舌』を読みたいと思った児童が多く、続きがとても気になったようだった。なまけものな性格である洋吉が、小人の約束を守ったのかどうか、また、これまでに紹介した2冊の本に出てくる“味”を、このお話の中に登場するカレーの味と重ねて聞くことで、ますます興味を持ったようだった。

今回のブックトークでは、昔話、食育、少し長めの物語を紹介したが、3年生と4年生では読みたいと思う本について違いが見られた。4年生は3冊の中で、特にストーリーが長い『まほうをかけられた舌』への関心が高い。これは長めの物語も、朝の読書などで楽しめるようになってきた年齢であり、手軽に自分たちの読書に取り入れやすいと感じたのではないかと推察した。また、3年生からは、今回のブックトークを通して、家で調理をしてみたいという内容の記述が見られ、料理に対する関心も高まったようだった。

●テーマ「よりどりみどり!? 鳥の本」

紹介した本は、『赤鬼エティン 愛蔵版おはなしのろうそく8「腰折れすずめ」』（東京子ども図書館／編 東京子ども図書館）、『ふしぎな鳥の巣』（鈴木まもる／文・絵 偕成社）、『かつてなカラスおおてがら』（ジョーン・エイキン／作 猪熊葉子／訳 岩波書店）の3冊である。

1. 本の紹介について

3年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか?」という問いに、おもしろかったと回答したのは八幡小、川崎小、忠見小の3校とも100%（八幡小18人、川崎小15人、忠見小43人）であった。合計76人の児童全員が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。（図7参照）

4年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか?」という問いに、おもしろかったと回答したのは八幡小、川崎小、忠見小の3校とも

100%（八幡小13人、川崎小15人、忠見小21人）、であった。4年生も、合計49人の児童全員が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。（図8参照）

2. 読みたい本について

3年生に対して「読みたいと思う本はありましたか？」という問いに、はいと回答したのは川崎小100%（15人）、忠見小97.7%（42人）、八幡小94.4%（17人）であり、いいえと回答したのは八幡小5.6%（1人）、忠見小2.3%（1人）であった。合計では、ほとんどの児童が読みたい本があったと認識しているという結果であった。（図9参照）

4年生に対して「読みたいと思う本はありましたか？」という問いに、はいと回答したのは八幡小、忠見小どちらも100%（八幡小13人、忠見小21人）、川崎小80.0%（12人）であり、いいえと回答したのは川崎小20.0%（3人）であった。合計では、はいと回答したのは93.9%（46人）、いいえと回答したのは6.1%（3人）であった。4年生も、ほとんどの児童が読みたい本があったと認識しているという結果であった。（図10参照）

八幡小の3年生の「『はい』と答えた人。それはどの本ですか？（複数可）」という問いに対して、『かつてなカラスおおてがら』は66.7%（12人）、続いて『ふしぎな鳥の巣』は55.6%（10人）、続いて『腰折れすずめ』は33.3%（6人）。川崎小の3年生は『かつてなカラスおおてがら』は93.3%（14人）、続いて『ふしぎな鳥の巣』は66.7%（10人）、続いて『腰折れすずめ』は53.3%（8人）。忠見小の3年生は『ふしぎな鳥の巣』は81.4%（35人）、続いて『かつてなカラスおおてがら』は69.8%（30人）、続いて『腰折れすずめ』は37.2%（16人）であった。全体では、『かつてなカラスおおてがら』は73.7%（56人）、続いて『ふしぎな鳥の巣』は72.4%（55人）、続いて『腰折れすずめ』は39.5%（30人）であった。八幡小と川崎小は『かつてなカラスおおてがら』、『ふしぎな鳥の巣』、『腰折れすずめ』の順であったが、忠見小は『ふしぎな鳥の巣』、『かつてなカラスおおてがら』、『腰折

れすずめ』の順となった。(図11参照)

八幡小の4年生の「『はい』と答えた人。それはどの本ですか？(複数可)」という問に対して、『ふしぎな鳥の巣』は84.6% (11人)、続いて『かつてなカラスおおてがら』は76.9% (10人)、続いて『腰折れすずめ』は23.1% (3人)。川崎小の4年生は『ふしぎな鳥の巣』と『かつてなカラスおおてがら』はいずれも53.3% (8人)、続いて『腰折れすずめ』は6.7% (1人)。忠見小の4年生は『かつてなカラスおおてがら』は95.2% (20人)、続いて『ふしぎな鳥の巣』と『腰折れすずめ』はいずれも42.9% (9人)であった。全体では、『かつてなカラスおおてがら』は77.6% (38人)、続いて『ふしぎな鳥の巣』は57.1% (28人)、続いては『腰折れすずめ』26.5% (13人)であった。八幡小は『ふしぎな鳥の巣』、『かつてなカラスおおてがら』、『腰折れすずめ』の順であったが、川崎小は『かつてなカラスおおてがら』と『ふしぎな鳥の巣』は同数で、続いて『腰折れすずめ』、忠見小は『かつてなカラスおおてがら』は最多、続いて『ふしぎな鳥の巣』と『腰折れすずめ』は同数で並ぶという結果であった。(図12参照)

3. 感想について

ブックトークアンケートの最後に「何か感想があれば自由に書いてください」の自由記述である。

<3年生>

◆八幡小学校

- ・いろいろな本を見られてよかった。
- ・テーマをきめて読むとまたちがった発見があるのでいいと思いました。
- ・鳥のことがもっと知りたい。

◆川崎小学校

- ・モチマーが、れいぞうこに入っていたところがおもしろかったです。

- ・ふしぎな鳥のすがいろんなすがあって大きいすとかは、鳥は、いっぱいのかれ葉や土をいっぱいもってきてつくっているからすごいなと思いました。
- ・わるいおばあさんがとりにいしをなげたのがかわいそうでした。

◆忠見小学校

- ・オーストラリアの鳥のすがでかくて、すごいし、たまごをかえすのにいいおん度にするからびっくりしました。
- ・ぼくはふしぎなとりのすのえほんがいちばんおもしろかったです。大きなとりのすがあったり、いろいろなとりのすがあっておもしろかったです。そのほんをみつけたらぜひかりたいです。
- ・モチマーがどこにいったかきになって、八女市立図書館に行って、かりたいです。
- ・やさしいおばあさんは、ひょうたんの中をのぞくとお米がつかいきれないくらいあったけど、悪い方のおばあさんはなくなったのはかなしいけどやっぱり悪いと思う。

< 4年生 >

◆八幡小学校

- ・わたしは、三さつの本の中で、「ふしぎな鳥の巣」がおもしろかったです。わたしは、つばめの巣や、カラスの巣ぐらいいしか見たことがなかったけど、外国の鳥の巣は大きなものがあって、おもしろかったです。
- ・かってなカラスおおてがらでカラスがどろぼうたちにどこにつれていかれたかをしりたい。

◆川崎小学校

- ・「ふしぎな鳥の巣」のすずめの巣がほかのとりの巣にあったから、びっくりした。
- ・いろいろな鳥の巣があってまだ自分の知らないことがいっぱいあるん

だと思いました。

・ダイヤをぬすまれたあとどうなったかよみたくになりました。

◆忠見小学校

・かってなカラスおおてがらがあの後カラスや家族がどうなったか知りたくなった。

・ふしぎな鳥の巣であんなあたまをつかう鳥がいたんだなとおもってよみたくなった。

『腰折れすずめ』は、日本の昔話である。やさしいおばあさんが、けがをして飛べないスズメをみつけてかわいそうに思い、世話をする。お礼に何かのタネを貰ったのでまいてみると、使い切れないほどの米が詰まったヒョウタンがたくさん実り、おばあさんは安楽に暮らせるようになった。これを聞いた隣の欲深ばあさんもけがをしたスズメを探すが、見つからないので石を投げつけてスズメにけがをさせ、つかまえて世話をする。このスズメもタネをくれたが、わずかに実ったヒョウタンからは、蛇、蜂、ムカデが出てきて、とうとう欲深ばあさんを殺してしまった。やさしいおばあさんは幸せになり、罪もないスズメにけがをさせる欲深ばあさんは死んでしまうという、昔話としてはそれほど珍しくない結末ではあるが、語り終えた直後に「怖い」と漏らす児童もいた。ストーリーテリングの手法で紹介したので、最初から緊張感をもって集中している児童が多く、“とうとう、欲ふかばあさんを殺してしまいましたとさ。”という最後の一文の印象も強かったのだろう。

『ふしぎな鳥の巣』は、世界中の鳥の巣についての絵本である。絵本作家として活躍する著者は鳥の巣研究家としても知られ、いろいろな鳥の巣の様子を、写真ではなく自らの絵によって紹介している。人間の姿を描きこむことによって巣の大きさがよく分かるようになっており、また、内部の様子も絵で表現されているため、子どもに伝わりやすい。今回のブックトークでは、スズメ・シャカイハタオリ・ツカツクリの3例を紹介したが、

児童は、巣作りの場所や、巣の大きさ、卵を孵すのに発酵熱を利用する点などについて、驚いたり興味を持ったりしたようだ。書架に並んでいるだけではあまり手に取られない絵本だと思われるが、忠見小の学校司書の方によると、ブックトーク後にすぐ貸出しとなったということだった。

『かつてなカラスおおてがら』は、イギリスの創作物語である。タクシードライバーのジョーンズさんは、オートバイにはねられたカラスを自宅に連れ帰り、介抱する。翌朝、冷蔵庫を開けると中にはそのカラスが入り込んでいて、レタスを残してほとんどのものを食い荒らし、散らかしていた。ところが娘のアラベルは、生き物なら何でも好きな女の子で、このカラスと一緒に暮らすと言い出す。モチマーと名付けられたカラスは、勝手気ままに振る舞い、ジョーンズさん一家に迷惑をかけるが、ある日宝石強盗の人質となり、連れ去られてしまう。警察からは強盗の一味ではないかと疑われながら、モチマーを心配するあまり、アラベルは食事も喉を通らなくなってしまった。今回のブックトークではここまでを紹介したが、感想については学年による違いが見られた。3年生ではモチマーが冷蔵庫に入っていたというエピソードにふれただけの児童が複数名いたが、4年生では同様の感想を書いた児童は1人だけであった。この本についての感想を書く場合、4年生ではほとんどの児童がモチマーの行方や強盗事件の結末など、続きが気になると述べている。あらすじの紹介を聞き、登場人物の性格やエピソードを楽しんで満足する児童の多い3年生に対し、4年生ではさらに物語の展開にも考えがおよび、自分で読みたいと考える気持ちの方がより強くなるのではないかと推察した。

●テーマ「はるなつあきふゆ」

紹介した本は『道ばたの四季』（高橋清／絵 岡部牧夫／文 福音館書店）、『森のはるなつあきふゆ オシギッパのもりでみつけた』（以下、『森のはるなつあきふゆ』）（岸田衿子／文 古矢一穂／絵 ポプラ社）、『おおきなきがほしい』（佐藤さとる／文 村上勉／絵 偕成社）の3冊である。

1. 本の紹介について

3年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか？」という問に、おもしろかったと回答したのは、川崎小、忠見小どちらも100%（川崎小14人、忠見小42人）、八幡小は94.4%（17人）であり、おもしろくなかったと回答したのは八幡小の5.6%（1人）であった。合計では、おもしろかったと回答したのは98.6%（73人）、おもしろくなかったと回答したのは1.4%（1人）でほとんどの児童が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。（図13参照）

4年生に対して「この本の紹介を聞いてどう思いましたか？」という問に、おもしろかったと回答したのは八幡小、忠見小100%（八幡小11人、忠見小18人）、川崎小93.3%（14人）、おもしろくなかったと回答したのは川崎小6.7%（1人）であった。合計では、おもしろかった97.7%（43人）、おもしろくなかった2.3%（1人）であった。4年生もほとんどの児童が本の紹介についておもしろかったと認識しているという結果であった。（図14参照）

2. 読みたい本について

3年生に対して「読みたいと思う本はありましたか？」という問に、はいと回答したのは川崎小、忠見小どちらも100%（川崎小14人、忠見小42人）、八幡小94.4%（17人）であり、いいえと回答したのは八幡小5.6%（1人）であった。合計では、はいと回答したのは98.6%（73人）、いいえと回答したのは1.4%（1人）であった。ほとんどの児童が読みたい本があったと認識しているという結果であった。（図15参照）

4年生に対して「読みたいと思う本はありましたか？」という問に、はいと回答したのは八幡小、忠見小どちらも100%（八幡小11人、忠見小18人）、川崎小80%（12人）であり、いいえと回答したのは川崎小20%（3人）であった。合計では、はいと回答したのは93.2%（41人）、いいえと回答したのは6.8%（3人）であった。4年生もほとんどの児童が読みたい本があっ

たと認識しているという結果であった。(図16参照)

八幡小の3年生の「「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)」という問いに対して、『おおきなきがほしい』は72.2% (13人)、『道ばたの四季』は33.3% (6人)、『森のはるなつあきふゆ』は22.2% (4人)。川崎小の3年生は『おおきなきがほしい』は85.7% (12人)、『森のはるなつあきふゆ』は50% (7人)、『道ばたの四季』は42.9% (6人)。忠見小の3年生は『おおきなきがほしい』は85.7% (36人)、『道ばたの四季』、『森のはるなつあきふゆ』はそれぞれ28.6% (12人)であった。全体では、『おおきなきがほしい』は82.4% (61人)、『道ばたの四季』は32.4% (24人)、『森のはるなつあきふゆ』は31.1% (23人)であった。八幡小は『おおきなきがほしい』、『道ばたの四季』、『森のはるなつあきふゆ』の順であったが、川崎小は『おおきなきがほしい』、『森のはるなつあきふゆ』、『道ばたの四季』の順であった。忠見小は『おおきなきがほしい』が一番に多く、続いて『道ばたの四季』と『森のはるなつあきふゆ』は同数で並ぶという結果であった。(図17参照)

八幡小の4年生の「「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)」という問いに対して、『おおきなきがほしい』は72.7% (8人)、『道ばたの四季』は54.5% (6人)、『森のはるなつあきふゆ』は27.3% (3人)。川崎小の4年生は『おおきなきがほしい』は66.7% (10人)、『道ばたの四季』は26.7% (4人)、『森のはるなつあきふゆ』は20% (3人)。忠見小の4年生は『おおきなきがほしい』は100% (18人)、『道ばたの四季』は44.4% (8人)、『森のはるなつあきふゆ』は16.7% (3人)であった。全体では、『おおきなきがほしい』は81.8% (36人)、『道ばたの四季』は40.9% (18人)、『森のはるなつあきふゆ』は20.5% (9人)であった。『おおきなきがほしい』は、八幡小、川崎小、忠見小ともに一番に多く、続いて『道ばたの四季』、『森のはるなつあきふゆ』の順であった。(図18参照)

3. 感想について（抜粋）

ブックトークアンケートの最後に「何か感想があれば自由に書いてください」の自由記述である。

〈3年生〉

◆八幡小学校

- ・『おおきなきがほしい』は、大きい木がほんとうにあったら、こやとてんぼうだいにのぼってみたいです。
- ・『道ばたの四季』の夏と秋がきれいです。
- ・ふつうでみれないふんいきが本で見れるので、本はいいなと思いました。
- ・いつもあまり読まない本とであえるのがいいです。

◆川崎小学校

- ・『おおきなきがほしい』は、あんな大きな木にきちみたいなものをつくってすごいと思いました。
- ・自ぜんのはるなつあきふゆのことが知れてよかったです。
- ・森では、木が緑色になったり葉っぱがぜんぶ落ちたりするのが分かってよかった。

◆忠見小学校

- ・『おおきなきがほしい』のつづきが気になったので、図書館でかりて読んでみたいです。
- ・『森のはるなつあきふゆ』で、森にすむ生き物が知れて良かったです。
- ・『森のはるなつあきふゆ』で、知らない生き物ばかりいっぱいいてびっくりしました。
- ・『道ばたの四季』は、道ばたにどんな動物や生き物がいるのか分かりました。きせつによって、いろいろなこん虫や動物がいるのが知れておもしろかった。

〈4年生〉

◆八幡小学校

- ・「つづきのお話は読んでみてください」といわれると本をよんでみたくなる。
- ・『はるなつあきふゆ』に出てきた動物や植物をいっぱい見られて良かったです。他の本もいろいろよんでみたいと思いました。
- ・『道ばたの四季』はリアルに草花がえがかれていて、しょうかいしてもらったのでよみたいと思いました。
- ・私は『おおきなきがほしい』の小屋を木にたてられるのが「すごいな」と思いました。

◆川崎小学校

- ・『おおきなきがほしい』のつづきが気になった。
- ・『森のはるなつあきふゆ』は、山にしかないきのこがあることをしました。
- ・『道ばたの四季』のぞうきばやしにすむ虫たちが多くてびっくりしました。はじめてしました。
- ・森や道ばたの様子がわかってよかったです。とてもおもしろかったです。

◆忠見小学校

- ・『おおきなきがほしい』のかおるくんが、大きな木がほしいと言ってお父さんがどう言うか本を読んでみたいと思いました。
- ・『道ばたの四季』で、動物は同じ所にいることを知りました。草や花は帰り道みているのもっと知りたくなりました。
- ・それぞれのきせつの動物のことについて知ることができました。
- ・ちょっとしょうかいしてもらっただけなのに読みたいほんができた。

『道ばたの四季』は、700種類の花や鳥、虫たちが季節ごとに紹介されている本である。その中の観音開きのページは、まるで自分が雑木林の中に

いるような感覚にとらわれる。日常ではあまり見られないヒバリやカヤネズミなど多くの動物が紹介されているので、「700種類の動物や花を探したい」、「雑木林に住む虫たちが多くてびっくりした」などの記述がみられた。また、季節の移り変わりによって景色や動物が変わることに驚いていた。八幡小の児童たちの反応を見ると、3年生では、この本を読みたいと回答した児童の割合は他の2校との差はあまりなかったが4年生では他の2校と比べて高かった。感想にもあるように、リアルに草花が描かれているので読みたいと思ったと述べている。また、雑木林のページを目を嚙らして見ていたので、「読みたい」と記述した児童が多いのはうなづける。

『森のはるなつあきふゆ』は、群馬県と長野県との境にある浅間山の裾野を紹介した本である。森には太くて大きな木が生息しており、そこに住む虫たちは自然と共存しながら生きている。ページをめくっていくと、木が太陽の光を浴び森へと成長し、春から夏、秋、冬へと季節が変わっていくのは臨場感に溢れている。川崎小の4年生の反応を見ると、この本を読みたいと回答した児童の割合は3校ともあまり大差はないが、3年生においては他の2校と比べて非常に高かった。川崎小は、周りを川や山で囲まれて自然豊かな地域である。児童たちは絵本を通して森の季節や自然の変化を知ることができ森に興味を持ったのだろう。

『おおきなきがほしい』は、おおきなおおきな木が欲しい男の子の話である。そのおおきな木には、小屋や見晴台がある。夏になると、かおるは小屋でホットケーキを焼いたり、秋は紅葉の葉っぱや銀杏の葉っぱが小屋の中まで入りこんで、かけすが掃除を手伝ってくれる。寒い冬にはストーブがおいであったりと子どもにとって基地みたいな憧れの空間であろう。最後に筆者が、「かおるが欲しいおおきな木は、こんなにおおきいのです」と木を紹介すると、「え～おおきい!」、「すごい!」と驚きの声飛び交った。感想にもあるように、「木にのぼりたくなった」、「予想以上に大きかったのでびっくりしました」など想像以上の大きさに驚いていた。また、木の上に自分だけの生活空間があるのは、現実からかけ離れて想像するだけ

で子どもたちはワクワクするだろう。3校の3年生・4年生ともに一番に多いのはうなづける。表紙が地味で、今の子どもたちはあまり手に取らない本であるが、紹介すると「読んでみたい」という記述が多くみられた。

4. 考察

ブックトークは一つのテーマに沿って、いろいろなジャンルの本を紹介し、その本の面白さを伝え、聞き手にその本を読んでみたいという気持ちを起こさせることを目的としている。アンケート調査から「つづきのお話は読んでみてくださいといわれると本をよんでみたくなる」など、ブックトークで紹介された本の続きを読みたいと答える児童は多かった。また、「テーマをきめて読むとまたちがった発見があるのでいいと思いました」、「いつもあまり読まない本とであえるのがいいです」などの感想があることから、テーマを設定して選書・紹介することは、児童が日ごろ手にとらない本に注目する効果を生むことがわかる。さらに、「今日のブックトークで味にきょうみを持って、読んでみようと思った」、「鳥のことがもっと知りたい」などの感想から、ブックトークにより児童がテーマそのものの興味を深め、関連書への発展的な読書へつながっていくことも期待できるのではないかと考察した。

今回、司書の方にブックトークで紹介した後の貸出し状況についてや図書館の利用についてアンケート調査をお願いした。「ブックトークで紹介した本は、貸出されましたか？」の間に、「すぐ貸出される」、「予約する」など手に取って続きを読みたい児童たちは多いとの回答であった。また、「ブックトーク終了後、児童たちの本の貸出しは増えましたか？」の間に、2校が「少し増えた」と回答。「ブックトークをきっかけに児童たちは、いろいろなジャンルの本を借りるようになりましたか？」の間に、各小学校で学年でのばらつきが見られるが、「少し借りるようになった」、「変わらない」が半々であった。「ブックトークをきっかけに児童たちは、図書館を利用するようになりましたか？」の間に、これも各小学校で学年

でのばらつきが見られるが、「利用するようになった」と「あまり変わらない」が半々であった。「何か気づかれたことをご自由にお書きください」では「貸出冊数が少ない学年ですが、ブックトークをしていただくとすぐに図書館に来て借りて行きます。」「このクラスは、図書館の利用率が非常に低くせっかくの良い機会なのに、あまり利用が伸びなかったのが残念です。しかし、この時に花は開かずとも、子どもたちの「心」にしっかり刻まれたと思います。」などの感想をいただいた。司書の方々のアンケート調査から分かるように、ブックトークをすることで、直ぐに本が貸出されたり、他のジャンルの本に興味を持つなど、児童たちの読書の幅が広がっている。このことから分かるように、ブックトークは児童たちの読書意欲に繋がっていると考察できる。

5. 今後の課題

ブックトーク後の児童たちの貸出し状況や図書館の利用について司書の方にアンケートを依頼した。アンケート結果からは、貸出者が増え他のジャンルの本に興味を示し借りていく児童たちが増えたことが分かった。しかし、課題も見えてきた。司書から「今の子どもたちは、絵本から読み物に移行するのが難しいので何か良い方法はないでしょうか」と相談を持ちかけられた。絵本に親しんでいる児童たちの中には、絵本から読み物に手が伸びない子どもたちもいる。おそらく読み物となると、絵本と違い絵が少なく活字が多いので、文字の羅列を見ると読む気にはなれないのだろう。

近年、小学生の「ミニ・ビブリオバトル」注4）が普及している。「ミニ・ビブリオバトル」は、発表者が読んで面白かった1冊の本を、3分間で参加者に紹介する方法である。小学生同士の「ミニ・ビブリオバトル」も良いが、幅広く質の良い本を知っている大人が、ブックトークのようにテーマに沿っていろいろなジャンルの本を紹介することで、様々な本を児童たちに手渡すことができ、児童たちの読書の幅が広がる。今後もブックトークができる環境を継続していけるよう、筆者たちと各小学校の連携が必要

不可欠である。

謝辞

この研究にあたり、ご協力をいただいた八女市立八幡小学校、八女市立川崎小学校、八女市立忠見小学校の3年生、4年生の児童の皆様及び教諭の方々、また、このアンケート集計をしていただきました本学の事務職員、浦幸代さんに深く感謝いたします。

(注1)「朝の読書」は1988年に、読書を習慣づける目的で始業時間前に読書の時間を設けた。千葉県の船橋学園女子高校（現・東葉高校）で、林公、大塚笑子両教諭によって提唱、実践された。

(注2) 文部科学省 平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」の結果について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1378073.htm ('18.8.15現在参照可)

(注3) 八幡小学校朝の読書時間（8時30分～45分）、川崎小学校朝の読書時間（8時30分～40分、忠見小学校朝の読書時間（8時15分～25分）

(注4) http://www.bibliobattle.jp/mini_bibliobattle ('18.10.7現在参照可)

資料 1

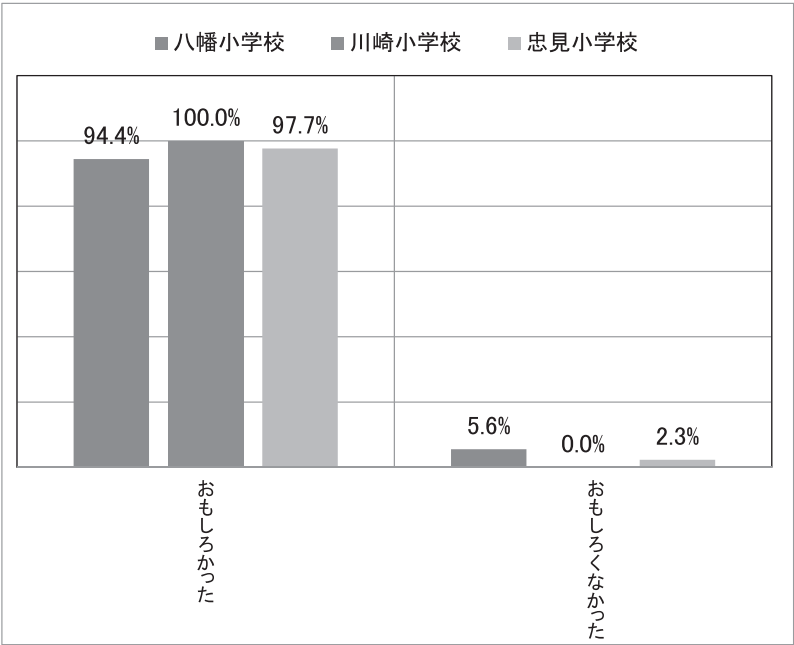
ブックトークアンケート集計「おいしい味ってどんな味？」

3 年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？

(図 1)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	17	94.4%	15	100.0%	42	97.7%	74	97.4%
2	おもしろくなかった	1	5.6%	0	0.0%	1	2.3%	2	2.6%
合計人数		18	100.0%	15	100.0%	43	100.0%	76	100.0%

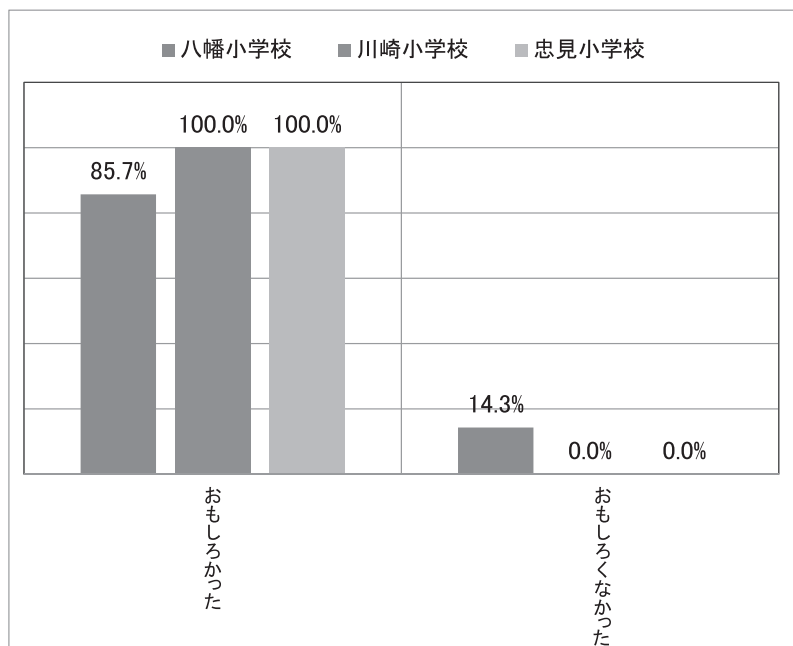


4年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？

(図2)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	12	85.7%	17	100.0%	20	100.0%	49	96.1%
2	おもしろくなかった	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%
合計人数		14	100.0%	17	100.0%	20	100.0%	51	100.0%

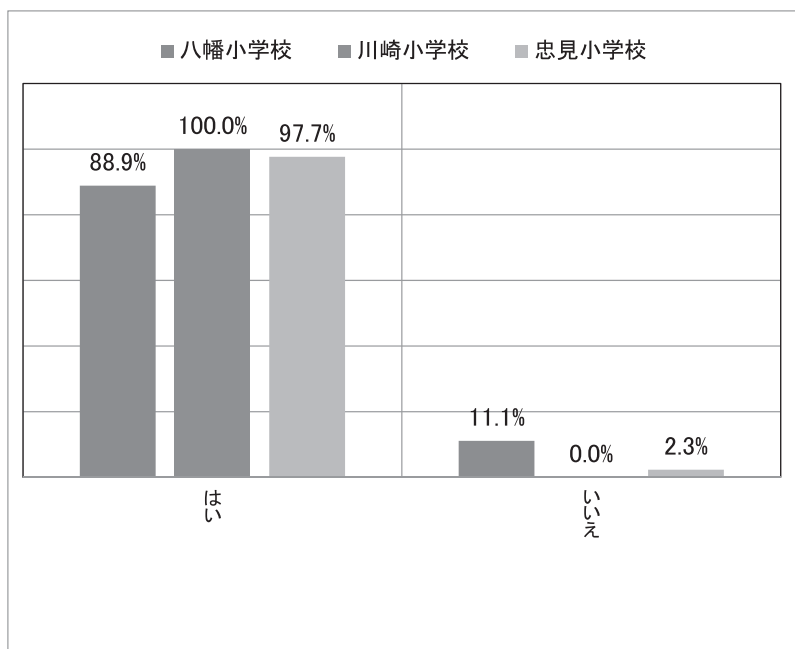


3年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図3)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	16	88.9%	15	100.0%	42	97.7%	73	96.1%
2	いいえ	2	11.1%	0	0.0%	1	2.3%	3	3.9%
合計人数		18	100.0%	15	100.0%	43	100.0%	76	100.0%

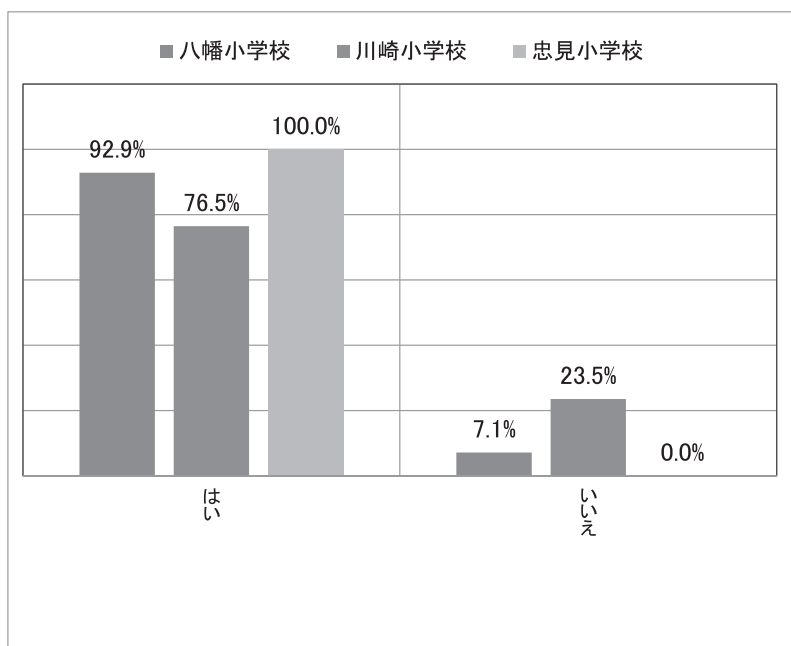


4年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図4)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	13	92.9%	13	76.5%	20	100.0%	46	90.2%
2	いいえ	1	7.1%	4	23.5%	0	0.0%	5	9.8%
合計人数		14	100.0%	17	100.0%	20	100.0%	51	100.0%

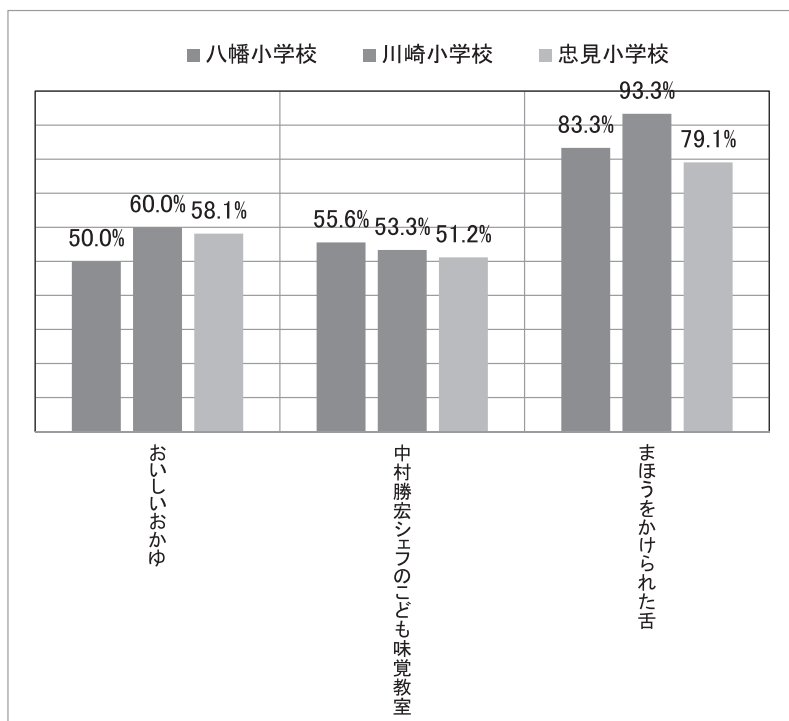


3年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)

(図5)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おいしいおかゆ	9	50.0%	9	60.0%	25	58.1%	43	56.6%
2	中村勝宏シェフの こども味覚教室	10	55.6%	8	53.3%	22	51.2%	40	52.6%
3	まほうをかけられた舌	15	83.3%	14	93.3%	34	79.1%	63	82.9%
合計人数		34		31		81		146	

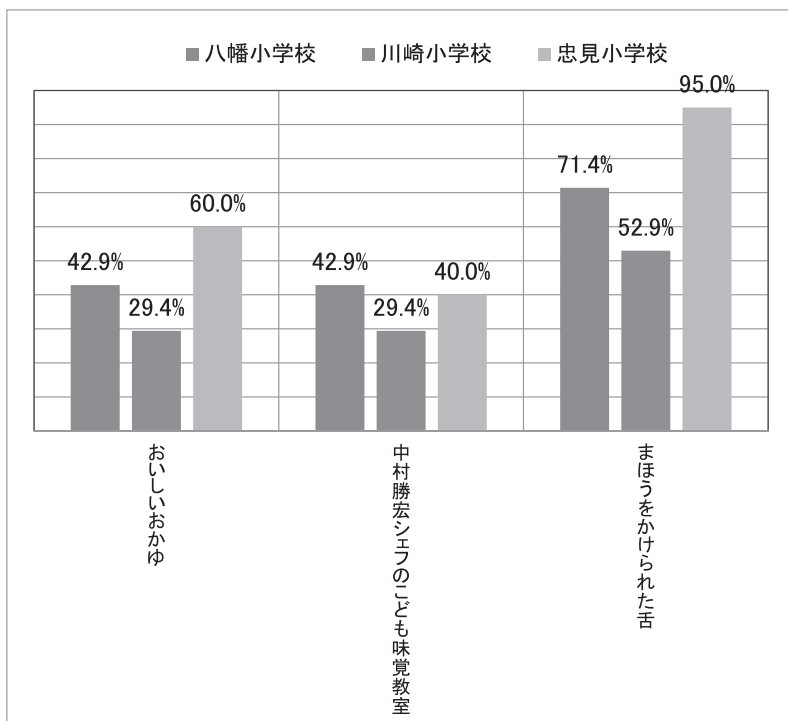


4年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)

(図6)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おいしいおかゆ	6	42.9%	5	29.4%	12	60.0%	23	45.1%
2	中村勝宏シェフの こども味覚教室	6	42.9%	5	29.4%	8	40.0%	19	37.3%
3	まほうをかけられた舌	10	71.4%	9	52.9%	19	95.0%	38	74.5%
合計人数		22		19		39		80	



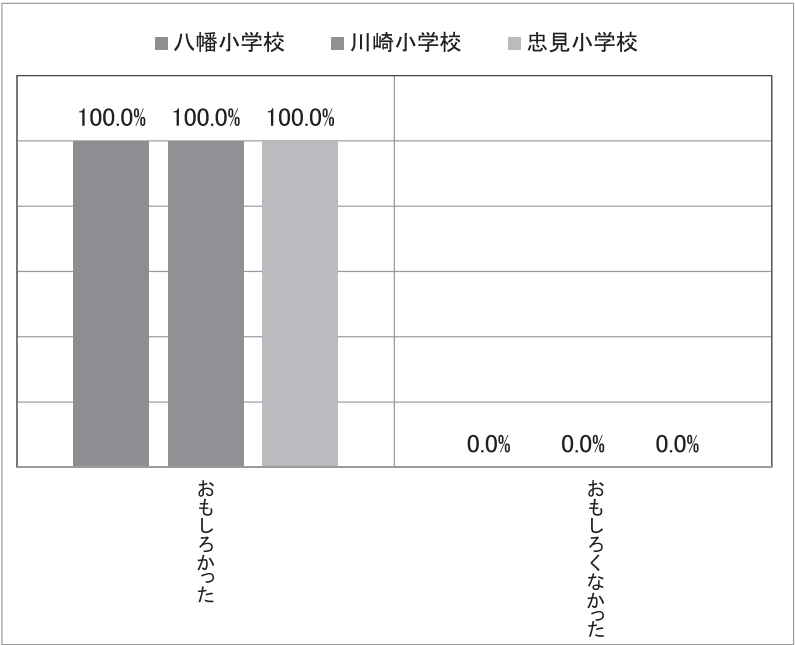
ブックトークアンケート集計「よりどりみどり！？鳥の本」

3年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？

(図7)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	18	100.0%	15	100.0%	43	100.0%	76	100.0%
2	おもしろくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計人数		18	100.0%	15	100.0%	43	100.0%	76	100.0%

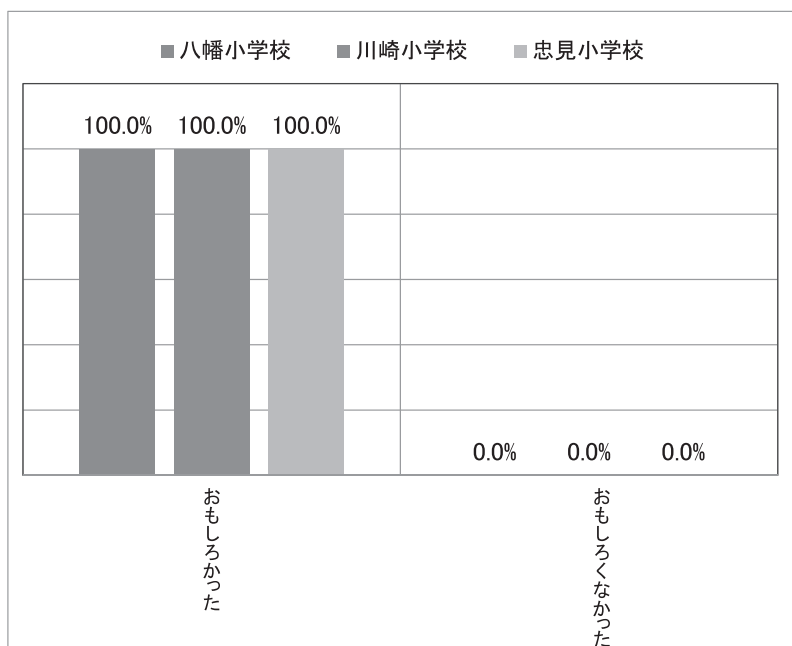


4年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？

(図8)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	13	100.0%	15	100.0%	21	100.0%	49	100.0%
2	おもしろくなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計人数		13	100.0%	15	100.0%	21	100.0%	49	100.0%

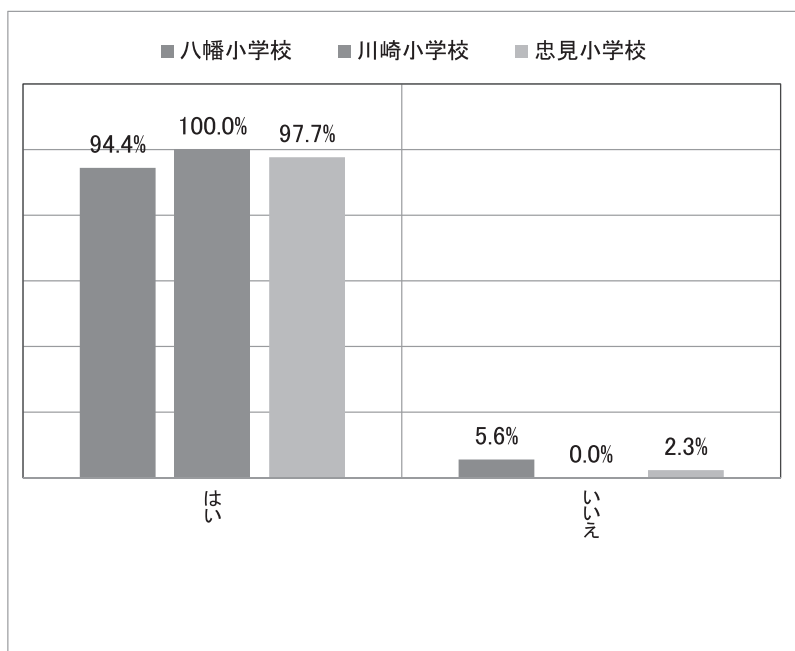


3年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図9)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	17	94.4%	15	100.0%	42	97.7%	74	97.4%
2	いいえ	1	5.6%	0	0.0%	1	2.3%	2	2.6%
合計人数		18	100.0%	15	100.0%	43	100.0%	76	100.0%

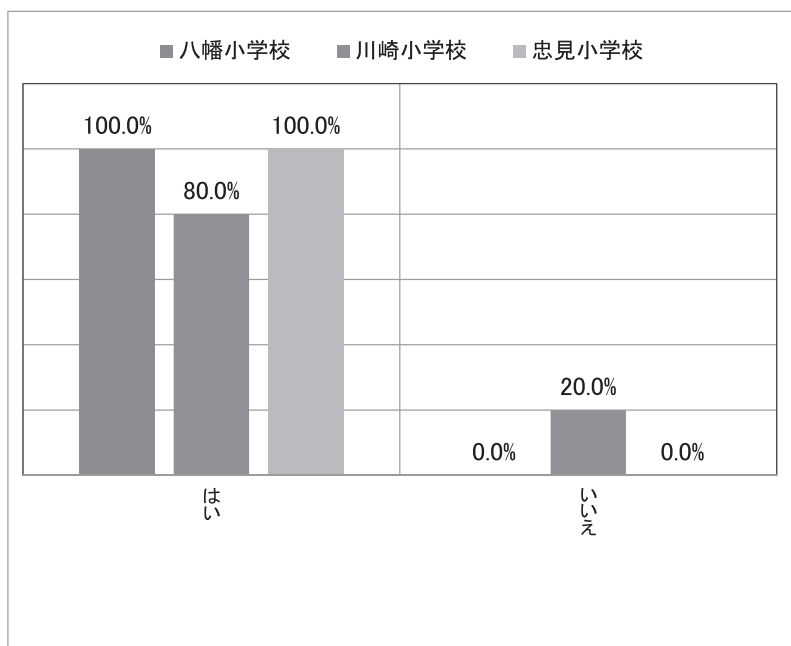


4年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図 10)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	13	100.0%	12	80.0%	21	100.0%	46	93.9%
2	いいえ	0	0.0%	3	20.0%	0	0.0%	3	6.1%
合計人数		13	100.0%	15	100.0%	21	100.0%	49	100.0%

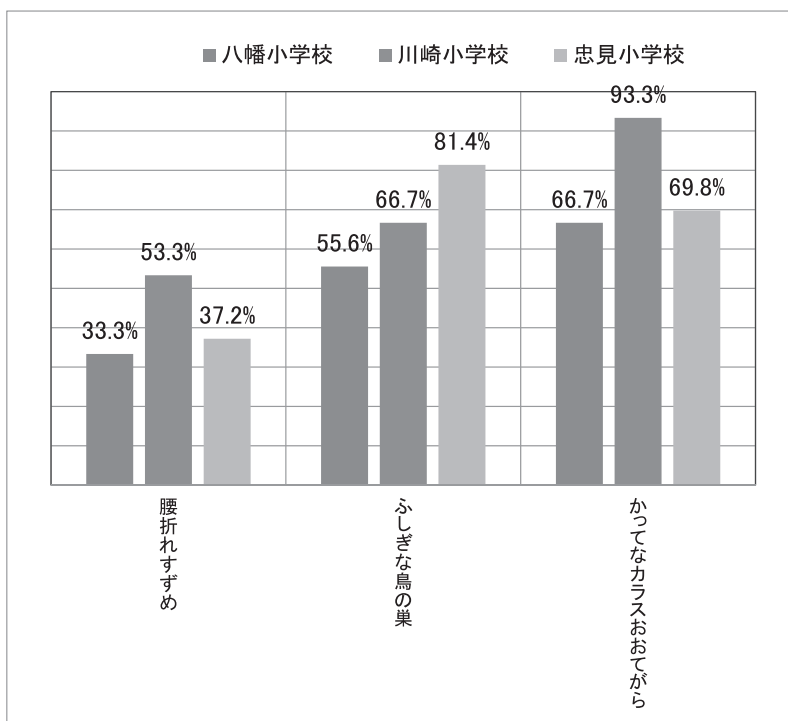


3年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)

(図 11)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	腰折れすずめ	6	33.3%	8	53.3%	16	37.2%	30	39.5%
2	ふしぎな鳥の巣	10	55.6%	10	66.7%	35	81.4%	55	72.4%
3	かつてなカラス おおてがら	12	66.7%	14	93.3%	30	69.8%	56	73.7%
合計人数		28		32		81		141	

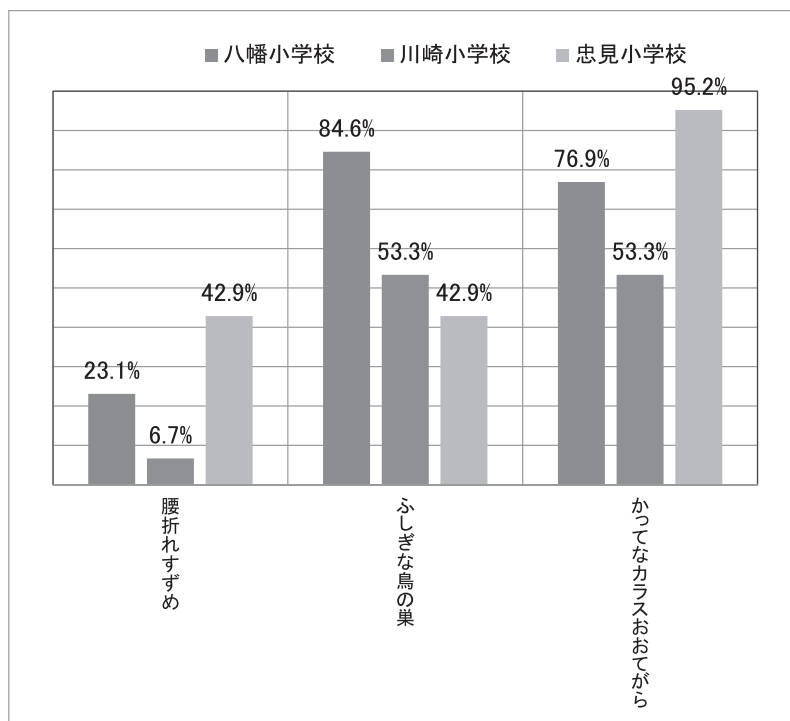


4年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)

(図 12)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	腰折れすすめ	3	23.1%	1	6.7%	9	42.9%	13	26.5%
2	ふしぎな鳥の巣	11	84.6%	8	53.3%	9	42.9%	28	57.1%
3	かつてなカラス おおてがら	10	76.9%	8	53.3%	20	95.2%	38	77.6%
合計人数		24		17		38		79	

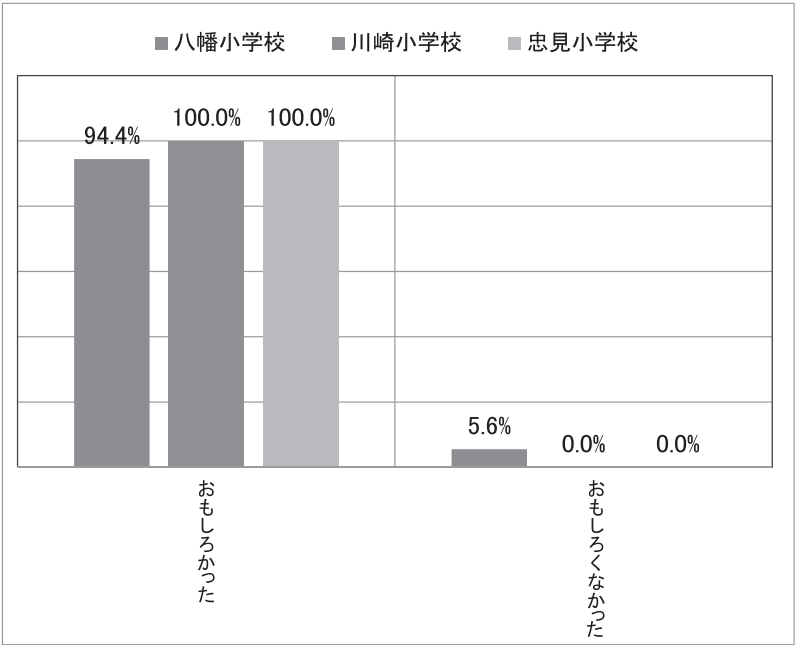


ブックトークアンケート集計（はるなつあきふゆ）

3年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？ (図 13)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	17	94.4%	14	100.0%	42	100.0%	73	98.6%
2	おもしろくなかった	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
合計人数		18	100.0%	14	100.0%	42	100.0%	74	100.0%

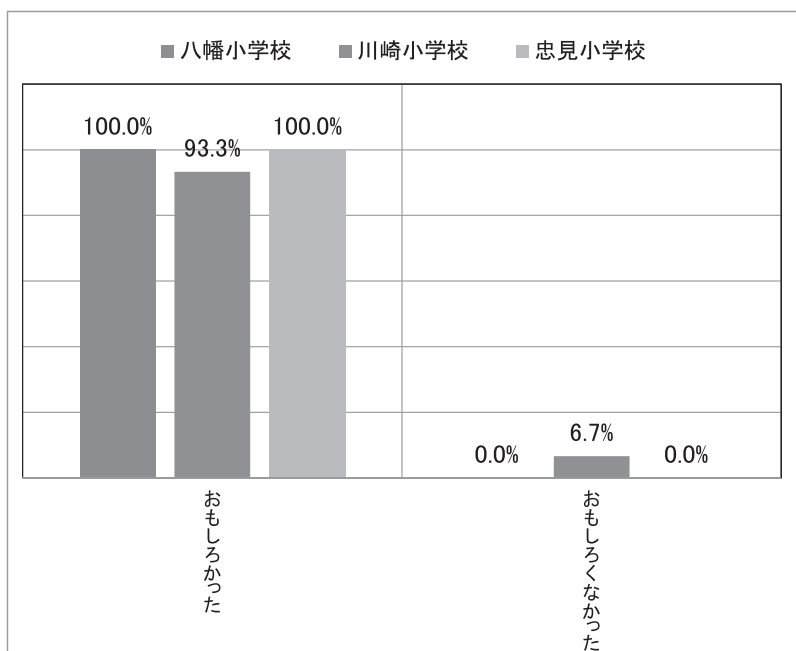


4年生

1. この本の紹介を聞いてどう思いましたか？

(図 14)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	おもしろかった	11	100.0%	14	93.3%	18	100.0%	43	97.7%
2	おもしろくなかった	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	2.3%
合計人数		11	100.0%	15	100.0%	18	100.0%	44	100.0%

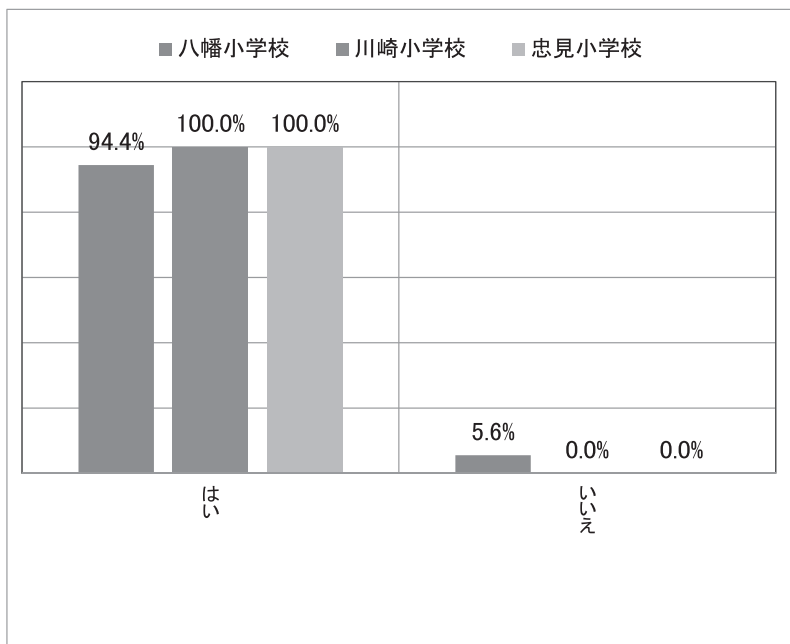


3年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図 15)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	17	94.4%	14	100.0%	42	100.0%	73	98.6%
2	いいえ	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
合計人数		18	100.0%	14	100.0%	42	100.0%	74	100.0%

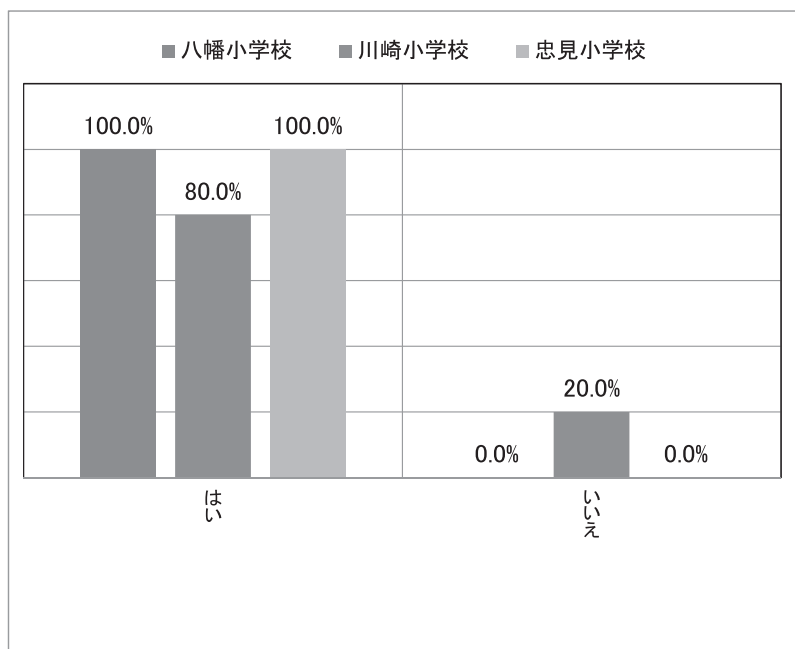


4年生

2. 読みたいと思う本はありましたか？

(図 16)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	はい	11	100.0%	12	80.0%	18	100.0%	41	93.2%
2	いいえ	0	0.0%	3	20.0%	0	0.0%	3	6.8%
合計人数		11	100.0%	15	100.0%	18	100.0%	44	100.0%

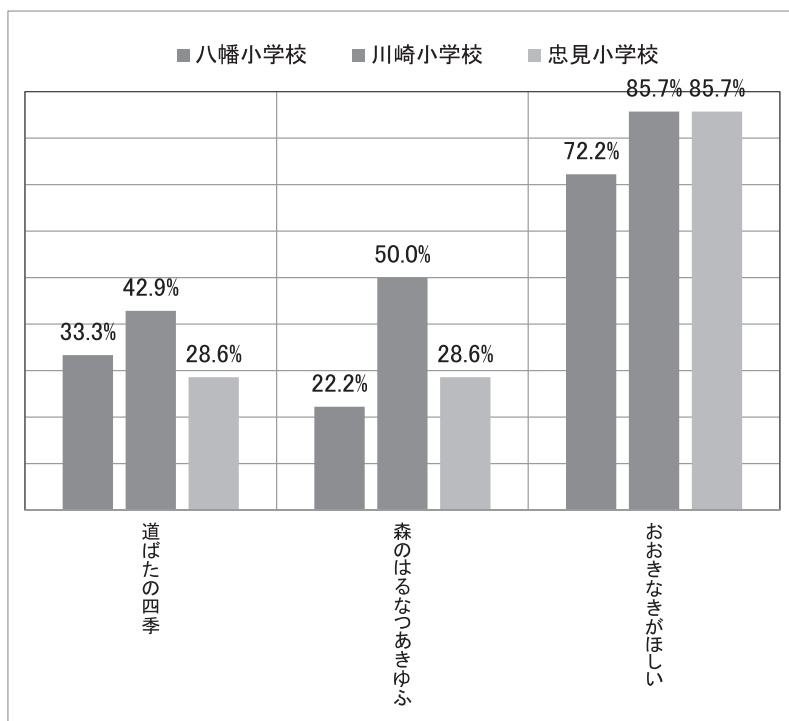


3年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。(複数可)

(図 17)

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	道ばたの四季	6	33.3%	6	42.9%	12	28.6%	24	32.4%
2	森のはるなつあきふゆ	4	22.2%	7	50.0%	12	28.6%	23	31.1%
3	おおきなきがほしい	13	72.2%	12	85.7%	36	85.7%	61	82.4%
合計人数		23		25		60		108	

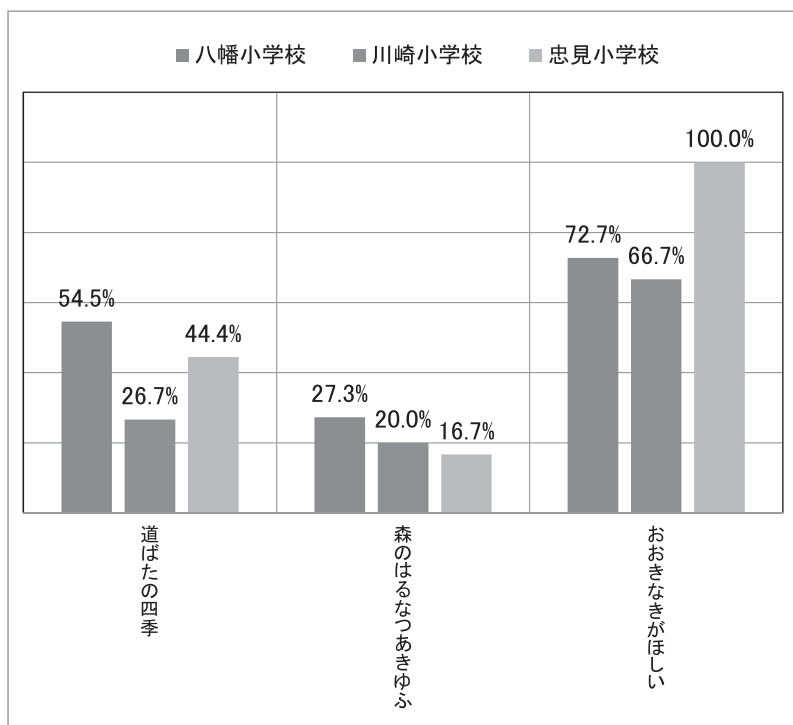


4 年生

* 「はい」と答えた人。それはどの本ですか。（複数可）

（図 18）

		八幡小学校		川崎小学校		忠見小学校		合 計	
		回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%	回答 人数	%
1	道ばたの四季	6	54.5%	4	26.7%	8	44.4%	18	40.9%
2	森のはるなつあきふゆ	3	27.3%	3	20.0%	3	16.7%	9	20.5%
3	おおきなきがほしい	8	72.7%	10	66.7%	18	100.0%	36	81.8%
合計人数		17		17		29		63	





ブックトーク『おいしい味ってどんな味?』アンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

①本の^{ほん}紹介^{しょうかい}を^き聞いて^{おも}どう思いましたか?

1. おもしろかった 2. おもしろくなかった

②^よ読みたいと^{おも}思う本^{ほん}はありましたか?

1. はい 2. いいえ

*「はい」と答^{こた}えた人^{ひと}
それはどの本^{ほん}ですか。(○はいくつつけてもいいです)

1. 『おいしいおかゆ』(お話)
2. 『中村勝宏シェフのこども味覚教室』
3. 『まほうをかけられた舌』

③^{なに}何か感想^{かんそう}が^{じゅう}あれば自由^かに書いてください。

ありがとうございました。

年 月 日

小学校

ブックトーク『よりどりみどり！？鳥の本』アンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。



①本の紹介を聞いてどう思いましたか？

1. おもしろかった

2. おもしろくなかった

②読みたいと思う本はありましたか？

1. はい

2. いいえ

*「はい」と答えた人

それはどの本ですか。(○はいくつつけてもいいです)

1. 『腰折れすずめ』(お話)

2. 『ふしぎな鳥の巣』

3. 『かつてなカラスおおてがら』

③何か感想があれば自由に書いてください。

[]

ありがとうございました。

小学校

ブックトーク『はる なつ あき ふゆ』アンケート

◆あてはまるものに○をつけてください。

①本の紹介を聞いてどう思いましたか？

1. おもしろかった 2. おもしろくなかった

② ^よ読^{おも}みたいと思^{ほん}う本はありましたか？

1. はい 2. いいえ

* 「はい」と答えた人

それはどの本ですか。(〇はいくつつけてもいいです)

1. 『道ばたの四季』
2. 『森のはるなつあきふゆ～オシギッパのもりでみつけた』
3. 『おおきなきがほしい』

③ ^{なに}何か ^{かんそう}感想があれば ^{じゆう}自由に ^か書いてください。



ありがとうございました。

資料3

司書の方 アンケートにご協力ください。

あてはまるものに○をつけてください。

◆ブックトークで紹介した本の貸出し状況についてお尋ねします。

①ブックトークで紹介した本は、貸出されましたか？

はい いいえ

*「はい」の場合

すぐ貸出される しばらくして貸出される 予約する

②ブックトーク終了後、児童たちの本の貸出しは増えましたか？

とても増えた 少し増えた 変わらない その他()

③ブックトークをきっかけに児童たちは、いろいろなジャンルの本を借りようになりましたか？

よく借りようになった 少し借りようになった 変わらない
その他()

④ブックトークをきっかけに児童たちは、図書館を利用するようになりしましたか？

よく利用するようになった 利用するようになった
あまり変わらない その他()

⑤何か気づかれたことをご自由にお書きください。

以上、ご協力ありがとうございました。